相双 COCORO ニュースなごみ

第 30 号 2022 年 2 月吉日

発行元　広報会員管理委員会
ホームページ　http://soso-cocoro.jp/
Facebook　https://www.facebook.com/cocoro.nagomi/
Instagram　https://www.instagram.com/nagomi_soso/
Twitter　https://twitter.com/nagomi_soso

普及活動

年末年始アルコール関連問題啓発キャンペーン

年末にアルコール関連問題啓発キャンペーンを行いました。例年ですと、市内の商業施設でパンフレットなどを配布しておりましたが、今年度は、今まで行ってこなかった、新地町、相馬市、南相馬市、浪江町の災害公営住宅を中心に行いました。一部の市町村や社協、回復者、日本赤十字看護大学の大学院ボランティアの方にお手伝いいただき、全部で 1,000 戸のお宅へ啓発パンフレット等をお届けすることができました。災害公営住宅では、高齢化が進んでいる地区もあり、災害によって家族が分断されている現状を知り、地域同士で支え合うことの大切さを感じました。（ケアセンター　鈴木）

地域の様子

全国初、ポケモン公園オープン

令和３年 12 月 12 日、「道の駅なみえ」にふくしま応援ポケモンのラッキーをモチーフにした「ラッキー公園」がオープンしました。ニュースでも取り上げられたこの公園は、ラッキーをメインにした遊具が６点設置されています。訪れると、鮮やかなピンク色が目に飛びこんできて、ポケモンたちのかわいらしい表情に癒されました。この日は平日でしたが、お子さんたちで賑わっており、公園は和やかな雰囲気で包まれていました。巨大なラッキー滑り台は、見ごたえが十分ありますので、浪江にお越しの際はぜひお立ち寄りください。（アウトリーチ　金澤）

「第９回孤独・孤立に関するフォーラムに出席して」

去る令和３年 11 月８日（月）、ホテル福島グリーンパレスにおいて開催された第９回孤独・孤立に関するフォーラムに行ってきました。このフォーラムは、孤独・孤立担当室が主催し、野田聖子 孤独・孤立対策担当大臣はじめ福島県の内堀知事、県内の孤立対策を行う計６団体の代表が出席しました。私は、与えられた５分間で、災害と孤立は関連性が高く平素の問題であること、特に表面化するアルコール関連問題やひきこもりは、現行の制度だけでは支援に繋げるのが難しい問題であると報告しました。短い時間でのプレゼンテーションは、不慣れではありましたが学びもあり、「専門家以外の人々に端的にわかりやすく伝えることを日々鍛錬していかねばならぬ」と心に刻みました。
（ケアセンター　米倉）
※この議事録は内閣府ホームページや地元新聞紙でも紹介されました。

なごみをご支援くださっている皆様（令和３年１月～令和３年 12 月）

《企業・団体》　・医療法人社団草思会錦糸町クボタクリニック
・ふたば会

《個人》　のべ 24 名　213,000 円

《助成金》　・赤い羽根共同募金

みなさまからいただいた寄付金や会費は、NPO 法人の運営資金として使わせていただいております。誠にありがとうございます！

なごみ応援団（NPO 法人の会員）を募集中です！

【新規会員のお申し込み方法】
以下の方法で会員申し込み後、郵便振込にて会費を振り込んでください。

①FAX または郵送での申し込み：会員種別（正会員または賛助会員）・氏名・住所・所属先（職業）・電話番号・メールアドレスを明記の上、下記住所に申込書を郵送または FAX してください。

②ホームページからの申し込み：http://soso-cocoro.jp/
なごみホームページの ★会員になる ボタンをクリックして申し込みフォームからお申し込みください。

当法人は、認定 NPO 法人になりました。当法人への会費及び寄附は、寄附金控除の対象となります。寄附金控除（所得控除）または税額控除のいずれかを選択して確定申告を行うことにより、所得税の控除を受けることが出来ます。詳しくはホームページをご覧ください。

1．正会員　年会費　10,000 円
2．賛助会員　年会費　一口　3,000 円
3．寄附

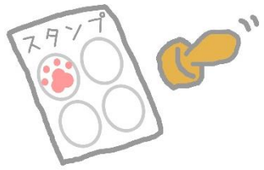
会費・寄附の振り込み方法：郵便振込
【振込先】
口座番号：02260-0-126825
口座名義：特非　相双に新しい精神保健福祉をつくる会

なごみ応援団の方には、
定期的に会報や相双地域などの情報をお送りいたします。是非ご検討下さい！

【お問い合わせ】なごみ相馬事務所
〒976-0016
福島県相馬市沖ノ内１丁目 2-8
電話　0244-26-9753
FAX　0244-26-9739
アドレス nagomi@soso-cocoro.jp

アウトリーチチームより

南相馬市鹿島区にお住まいの利用者さんと 10 月～12 月「鹿島スタンプラリー」「かしまめぐりパンフレット」を元に、地元の名所巡りをしてきました。鹿島スタンプラリーは、鹿島区にある寺社仏閣（34 カ所もある！）を巡るスタンプラリーで、身近に歴史あるパワースポットがあることを知りました。かわいい狛犬がいたり、紅葉が綺麗だったり、寒桜が咲いていたり…「かしまめぐり」で訪れた山城跡からは、気持ちの良い景色が見られたり…慌ただしく過ごしていると見過ごしていたであろう、自然の流れや歴史の趣を味わうことができました。利用者さんと共に、地元の新たな発見やのんびり流れる豊かな時間を共有することができました。（アウトリーチ 金澤）



なごみ CLUB チームより

11 月のとある日、利用者さんよりイノハナ（香茸）の差し入れがあり、差し入れて下さった利用者さんのご家族から作り方を教わり、イノハナご飯のおにぎりを作りました。日中活動を行っていると、時間が経つにつれて部屋中にいい香りが漂いだしました。炊飯器から炊き上がりを伝えるメロディーが流れると利用者の皆さんも待ってましたとばかりに手を洗い、エプロンを着け、おにぎり作りの準備を済ませました。炊飯器のふたを開けると、、、イノハナのいい香りが一層お部屋に広がりました。香茸という名前そのものです。香りを楽しみながらおにぎりを作りました。（なごみ CLUB 阿部）

こころのケアセンターチームより

こころのケアセンターでは、双葉郡内の社会福祉協議会の生活支援相談員さんたちを対象にした定期的な情報交換会を行っています。今回はアルコールに関する問題に対して、地域住民と会話するときや、巡回訪問時に使える観察すべきポイントについてミニ講話を実施しました。参加者の中には入職して数か月の新人職員もおり、実際にどのように対応したらよいのかわからないと話していました。双葉郡内も少しずつ復興拠点が整備され、住民の帰還が増えてきています。震災から 10 年が経過した今も、まだ心に深い傷を負う人々がいる中で復興に向けた取り組みが進み、故郷で安心した生活が送れるようになることを願います。（ケアセンター　工藤）

訪問看護チームより

平成 23 年の東日本大震災当初より、現在も変わらずに毎月、支援に来て下さっている熊本県の桜が丘病院院長の小林幹穂医師に、南相馬市小高区にお住いの利用者さんの訪問・外出同行をして頂きました。小林先生は、「ここに居てくれる」温かい存在です。利用者さんも初めて会うにもかかわらず、普段通りのなごやかな訪問となりました。この日はクリスマスが近いこともあり、小高交流センターの一角に可愛い巨大リースがありました。旧避難指示区域の南相馬市小高区は、令和 3 年 11 月現在、3811 名の方が帰還されています。小林先生は、そんな移り変わっていく人や風景を今も見守り続けてくださっています。（訪問看護 佐藤）

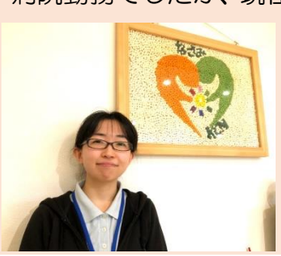
なごみに新しい仲間が加わりました！

金澤　幸絵(かなざわ　ゆきえ)

はじめまして。９月からアウトリーチに入職した金澤幸絵と申します。職種は精神保健福祉士です。これまでは、精神科病院の相談室で勤務しておりました。おかげさまで日々、刺激のある、有意義な時間を頂いております。美味しいものを食べること＊楽しむこと＊笑うことを大切に、１日１日がんばります。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

古佐原　範次（こさはら のりつぐ）

10 月より訪問看護ステーションなごみに配属、勤務しております。
古佐原範次です。以前に、アウトリーチ所属で勤務しておりました。一度離れて違う形で、地域を見ておりました。退院後に不安や生活の困難さを抱えている人が多いことを実感致しました。自分にできることには限りはありますが、自分の思いを形にする為、今一度この NPO 法人相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会にお世話になることにいたしました。少しでもお役に立てるように頑張って参りたいと思います。よろしくお願いいたします。

山﨑　妙純（やまざき みすみ）

10 月から相馬広域こころのケアセンターなごみに非常勤で通わせていただいております、看護師の山崎妙純と申します。昨年までは病院勤務でしたが、現在は日本赤十字看護大学大学院で災害看護を学んでおります。ご縁をいただいて、なごみの活動を知り、対象者さんとの距離の近さや活動の自由さに惹かれました。まずは福島、相双地域、南相馬を知ることからですが、精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。